

## 令和7年度 第2回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和7年8月8日(金) 13時30分から14時10分まで	
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室	
議題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会长 沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会长 馬淵 直樹
	委員	大垣市医師会副会长 竹中 清之
	委員	揖斐郡医師会会长 野田 宜輝
	委員	大垣歯科医師会副会长 北村 浩之
	委員	大垣市薬剤師会会长 松本 正平
	委員	大垣市教育委員会教育長 細江 敦
	委員	大垣市女性連合会会长 竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授 遠渡 絹代
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
概要	<b>1. 報告事項</b>	
	<b>(1)定例報告事項</b>	
	1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。	
	①紹介率……7年4月～7年6月:71.1%	
	逆紹介率…7年4月～7年6月:144.4%	
	②地域連携予約診案件数…7年4月～7年6月計:2,912件	
	地域連携予約検査件数…7年4月～7年6月計:202件	
	③開放型病床登録医数…7年6月末:162人(医科133人、歯科29人)	
	開放型病床利用率…7年4月～7年6月:2.3%	
	緊急緩和ケア病床利用率…7年4月～7年6月:0.0%	
	④救急受診患者数…7年4月～7年6月計:7,553人(月平均2,518人)	
	救急車利用件数…7年4月～7年6月計:2,286件(月平均762件)	
	救急入院患者数…7年4月～7年6月計:869件(月平均290件)	
	⑤地域医療従事者に対する研修…7年4月～7年6月開催数:7回、院外受講者70人	
	*西濃地域神経内科病診連携研修会、病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等	
	市民対象講演会等…7年4月～7年6月開催数:2回、院外受講者97人	
	⑥地域連携クリニカルパス登録状況…7年4月～7年6月登録総数170件	

	<p>7年6月末時点でのパス開始からの登録総数:13,688件</p> <p>⑦OMNet利用状況…7年6月末時点の利用登録医療機関:138機関 診療情報閲覧に同意した患者総数47,437人</p> <p>⑧地域の医療機関との連携相談実績…7年4月～7年6月計:3,114件 医療相談実績…7年4月～7年6月計:113件 医療福祉相談 4,783件 がん相談 234件</p> <p>2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員) 外来患者の数とか救急の件数が減っています。他の病院に流れている感じがありますが、どのように考えてみえますか。</p> <p>(事務局) 私どもが揖斐の医療機関を訪問してご意見をお伺いする事がありましたが、患者さんの希望を聞いて他の病院に紹介しているというのは聞いております。そういう中で需要を確認したり、当院の強みをPRしていく必要があります。 救急車の数が減っている事も同じような原因であると思いますが、ある程度分担という事もあるので、結果を見ていきたいと考えています。</p> <p>(委員) 患者数が多いと市民病院が忙しくなってしまって、ひとりひとりに対応する時間が短くなってしまうので、分散しているとしたら、それだけひとりにかける時間とか満足度を増すという方向性もあるのではないかでしょうか。満足度が増えればリピーターが増えるのではないかでしょうか。</p> <p>(事務局) 患者さんの満足度調査というものを毎年行っておりますので、問題点につきましては改善するべきところは改善するというように取り組んでおります。</p> <p>(委員) 初診料算定患者の所ですが、全般に減っていますが、なぜ時間外だけ増えているのですか。何か要因があるのですか。開業医の先生が診なくなつたとかですか。</p> <p>(事務局) 初診患者が減っている事は、我々としても重要な事であると考えています。時間外外来院が増えた事に関しても救急の方と情報共有したいと考えています。</p> <p>(委員) 紹介率と逆紹介率の表を見ると、地域医療支援病院としての要件である紹介率50%以上、逆紹介率 70%以上を全科平均すると達成していますが、科ごとを見ると達成していない科もあります。達成していない科は何か改善しなければいけないの</p>
--	--

	<p>ですか、科の特性として仕方がないものなのですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>特に逆紹介率は、科の診療の特性というのが非常に大きく影響しています。例えば小児科のように急性疾患が多く、治ってしまうような患者さんが多い診療科では逆紹介する事が少ないですし、循環器内科や糖腎内科のように慢性疾患を扱っている診療科では、かかりつけ医に逆紹介させていただくケースが多いです。胸部外科では初診で紹介してくる患者さんはほとんどないので、循環器内科経由で胸部外科に回って、胸部外科から逆紹介すると患者紹介が少ない分、パーセンテージが大きくなるという事があると考えます。</p> <p>(委員)</p> <p>数値として減少しています。増えています。というのは表を見れば分かりますが、要因分析、対策をセットでお伝えいただくと、地域医療支援病院としてのあるべき姿をどう考えているのかというのが明らかになってくると思います。</p> <p>(事務局)</p> <p>対策も含めて、次回からそういう話しをしながら報告させていただければと思います。</p>
	<p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和7年度4月から6月までの患者さんからの電話予約実績は189件。地域別では大垣市の先生が88.8%を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約36.4%を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和7年度4月から6月まで12件。診療科別としては、糖尿病・腎臓内科が25.0%となっている。</p> <p>③今年度から配置した病診連携推進員が延62件訪問し、当院の紹介、OMNetの勧誘を行い、OMNetで11件の新規申込を受け付ける事ができた。</p> <p>④下り搬送実績は昨年8月からの累計で109件となっています。</p> <p>2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員)</p> <p>かかりつけ相談センターに月4回ほど相談があるようですが、これはどのような相談があるのでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>担当科の方から逆紹介をしようと思うがかかりつけ医を持っていない患者さんに対して、どこに行ったらいいのかと相談依頼があります。ただ患者さんの近くの医院を紹介するという訳ではなくて、担当科の意向を聞きながら、その方の病状に</p>

	<p>合わせて患者さんの最適なところを紹介しています。</p> <p>(委員) 下り搬送について今後も続けていって、さらに疾患も増やしていくといったいです。</p> <p><b>2. その他</b></p> <p>(委員) 第三者行為による傷病届というのを保険組合に提出してもらって、その紙をもとに保険組合が相手方にお金を請求するという制度になっていますが、正しい運用をしていただきたいので、ドクターに対する教育、患者さんに対する指導を大垣市民病院も徹底していただきたいです。</p> <p>(事務局) 第三者行為。救急が多いと思いますが、患者さんから保険証を使いたいという話もあったりするのですが、そういう時は保険者の同意を取ってくださいという形で説明させていただいている。また、情報を集約して確認させていただきたいと思います。</p> <p>(委員) 大手ドラッグストアの調剤薬局の方から、2026年4月に大垣市民病院が院外処方に全面分業するという噂がありますが本当ですか。</p> <p>(事務局) 把握しておりません。</p> <p>(委員) 報告いただいた減少という言葉がありましたが、入院された方の感想もあると思います。病院内の雰囲気とか対応する方の事も大切なと思いました。</p> <p>(委員) 地域の支援病院として、この地域の医療レベルが上がるようにしていただけるとありがたいです。</p>
次回開催	令和7年度第2回委員会は令和7年11月28日(金)を開催予定とする。